有力企業の製品・技術〈順不同〉

建築・建材展

港製器工業

港製器工業が開発した間伐材を使った塀「スーパーフェンス」は、老朽化が進む既存のブロック塀の代替に最適だ。4月1日に本格発売を予定している。

支柱となる柱の間にヒノキ間伐材などの地域材を使用したパネルをはめ込む簡単施工。メンテナンス時の自由度が高く、傷んだ箇所のみを交換するだけで良い。

柱の色はステンカラーとダークブロンズの2種類、高さが1・6―3㍍の範囲で5種類、計10種類を用意した。地域材としては、間伐材「九州のヒノキ」「高知のヒノキ」「小田原のスギ」、銘木の「岩手のカラマツ」を用意している。現地で調達した木材をパネルとして使うことも可能だ。またオプションで門扉や控え柱（構築物が倒れないように支持する柱）も用意している。

SECURITY SHOW2014
LED Next Stage2014
建築・建材展２０１４

篠原電機

日本は第4世代の光源としてＬＥＤ照明を推進してきた。篠原電機は10年前からＬＥＤの特徴である省エネ・長寿命・強度を最大限に高める商品の開発を続け、産業用途向けに提供する。初期の開発商品で、当時新幹線のグリーン車に採用された温白色ＬＥＤアレイを契機に、各用途の商品化へと発展させた。

直流（ＤＣ）12―24㍓で４０００㌅以上の明るさを発揮するハンディタイプ照明は、ソリッドステート光の特徴を十分に発揮する。また高輝度配電盤照明はどのような環境下でも瞬時に点灯する性能を備える。

使用するＬＥＤデバイスについては特許を順守した信頼性の高いものを用途に応じて選定している。今後も細心の注意を払い、社会を照らす安心・安全な照明器具の提供に力を注ぐ。

SECURITY SHOW

ハイテクインター

ハイテクインターは官公庁・工場・交通・放送など多岐にわたる分野で産業用通信機器を販売、サポートしている。展示会では同軸、ＬＡＮケーブル、あるいはメタル線を使ってＬＡＮ延長とＰｏＥ給電を可能にする製品を中心に紹介する。

その中でも、特に「ＰｏＥ＋」対応製品が目玉となり、同軸ケーブルで８００㍍先まで接続可能な製品や、集合型モデルなども展示する。ＰｏＥ対応モデムの利用は電源工事が不要になるなど工期短縮に貢献し、監視用カメラ設置、ＩＰ電話の設置時のコスト削減が実現可能だ。

その他、ＰｏＥ対応のスイッチ、メディアコンバーター、屋外でも使用可能な無線ＬＡＮアクセスポイント、フルＨＤ映像伝送システムのデモを、実際の構成が分かりやすいよう動態展示する。

ホーチキ

ホーチキは小規模施設から複数のテナントやオフィスの一括出入管理まで、顧客のニーズに合わせて簡単に導入・運用できる出入（入退室）管理システム「ｉｄ・Ｔｅｃｈｎｏシリーズ」を展示する。

また低照度、逆光などさまざまな環境下で優れた映像を提供する「ネットワークカメラ」、災害時に防災ラジオとして活用でき、コミュニティＦＭ局の電波を利用して自治体からの緊急放送を受信し自動起動する「ＦＭ緊急ラジオ」、アンテナを内蔵したスリムなデザイン、警報器の通信グループの簡単登録、親器・子器の区別がなく最適なルートを選択し連動する「無線連動型住宅用火災警報器」も紹介する。

ブースには総合防災ソリューションをそろえ、来場者の要望に応える製品を提案する。

プロテック

プロテックは録画一体型防犯カメラ「安視ん君（あんしんくん）」のメガピクセル対応商品を出展する。カメラとレコーダーが一つのハウジングに収納されており、交流１００㍾を供給するだけで動作するため、街路灯・看板灯などへ簡単に設置でき移設・増設も容易だ。

顧客からの強い要望である「２００万画素の高品質録画」を実現した。１２８㌘バイトの大容量ＳＤカードに対応し、２００万画素の高画質映像を約10日間録画することが可能だ。

さらに、全地球測位システム（ＧＰＳ）による時刻補正機能の標準搭載や設置後の運用まで考慮する。また容易に視認できる大型ＬＥＤによる異常表示も新搭載。防犯整備士によるフルメンテナンス付きなので設置後も安心で〝まちかど防犯〟に貢献する。

七星科学開発センター

七星科学開発センターは各種信号防犯システムに対応した光通信機器を多数展示する。新開発のテレメーター用光通信機も紹介する。防犯カメラ業界向けには、主流となったハイビジョンカメラ対応複合光通信機器とＩＰカメラ用のＬＡＮ対応光通信機器をデモ展示する。フルハイビジョン映像は従来に比べ１００倍以上のデータ通信量が必要で、同軸ケーブルでは長距離化が困難。同社の光通信機器を用いることで、フルハイビジョン映像と制御信号を、同時に最大40㌔㍍まで伝送可能だ。

電気信号を光変換し送信することで、ノイズの影響を受けない。また光ファイバーはガラスのため、落雷によるシステムへの被害を抑えられる。小型通信ユニットとして、防犯カメラ筐体内への組み込みも容易だ。

PoE延長装置で長距離や屋外でもネットワークカメラ設置が可能

電力供給が難しい場所でも各種ケーブルでPoEの延長を実現します。

PoEとは…Ethernetを利用して電力を供給する技術です。
ネットワークカメラやIP電話、無線LANアクセスポイントなどの対応機器が、LANケーブルだけで利用可能です。

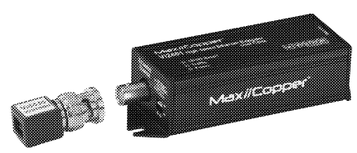
LANケーブル → Vi2301

・最長650mまで延長可能（100Mbps）
・-40～+75℃の広い動作温度
・コンパクト設計

同軸ケーブル → Vi2401

・最長548mまで延長可能（100Mbps）
・-40～+75℃の広い動作温度
・コンパクト設計

電話線（メタル線） → Vi0030+Vi2401



・最長600mまで延長可能（10Mbps）
ICT0.5㎜　ケーブル使用時：最長500m
ICT0.65㎜ ケーブル使用時：最長600m
ICT0.9㎜　ケーブル使用時：最長600m

【より長い伝送距離に対応した製品やPoE+に対応した製品ラインナップも充実しています】

マンション・事務所・倉庫・商店・空港・駐車場・駅など、セキュリティ強化が必要な場所に

■ 100m以上のLAN延長+電力供給が可能に
■ 電源工事不要でカメラの設置が可能に
■ 今まで設置が難しかった場所でも監視が可能に
■ アナログカメラからネットワークカメラへの置き換えを容易に

第22回 セキュリティ・安全管理総合展
SECURITY SHOW 2014
2014年3月4日㈫～3月7日㈮ 東京ビッグサイト 東3ホール
小間番号：SS3416 ぜひ会場で実際の製品をご覧ください

HYTEC INTER Co.,Ltd.
ーイーサネット延長製品はお任せくださいー
ハイテクインター株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-28-6 いちご西参道ビル3F
TEL:03-5334-5260/FAX:03-5334-3688/mail:info@hytec.co.jp
http://www.hytec.co.jp